病院再建へ活発な論議

（第一面からつづく）

宮古議員　町長のいうのは無理である、町職員が反対しているのを管理者は知らない、赤字は杉田町長になつてからではない、診療所にすれば補助がつくから、水準を下げないというなら現在ある病院を○療所にする必要はない、しよつちゆう変るがこんどは変らないか

杉田町長　最終的判断をくだした　変ることはない

宮古議員　病院のままでよい、町民のなかに大きな運動がおきる、慎重にやつてほしい

杉田町長　医療水準はさげない

宮古議員　休止の場合どうするか

杉田町長　休診のないよう努力する

国部議員　無医町村が多いが本町は一千五百人に一人の医師がいて恵まれている、診療所にして機能を落さないというが老人専門の病棟を建てるか

杉田町長　老人専用のベッドは必要なので検討したい

町長の一方的な説明会

林議員　町長の一方的な説明会だが、現況から診療所というが、現況とはなにか

杉田町長　現況とは町の人口、財政、赤字、入院患者、地元の開業医などを指している

林議員　原況から格下げすれば一層過疎化する、病院の赤字は第一次的でない第一次はなにか、病院同様の機能をもつなら病院でよいではないか

杉田町長　新築するので申し分ないものができる、診療所は補助、起債が有利な考えもある、診療の低下をきたさない

早坂議員　病院が望ましいが町の推移にふさわしい委託が一番よい、診療所にしてどのくらい赤字は押えられるか

杉田町長　半分以下に押える努力をしたい

佐々木議員　病院廃止も止むを得ないと意見を出した一人だが、老人福祉、母子センターを併用してゆけばよい、将来でなく間もなくできる考えはないか、いつごろやるか

杉田町長　老人福祉の施設は早々とりくみたい、母子センターは将来検討したい

松台副議長　町長は議会に相談して理解をもつてもらつてやりたいというが、なく、どちらになつても多数の意見に従うのか、考えている以外のこともやるのか

杉田町長　当初から診療所で再出発したいので、みなさんの意見は検討するが最終的な考えを貫きたい、診療所をあくまで貫きたい

議会が理解せねば放棄

松台副議長　理解を得られなかつたらどうするのか

杉田町長　議会の理解が得られなければできないので放棄せざるを得ない

松台副議長　道なり支庁で陸別町は診療所がよいとの指導があつたかないか、自治労が時限ストを明日やるが町職員が入つており町長はどう理解しているか、小学校跡地に一連の施設が納まるかどうか

杉田町長　ストの問題は医療を守るという常識ある行動を信ずる、小学校跡地の埋め立てを考え充分余裕がある、上部機関の指示はうけていない

松台副議長　なにも指示はないというが、道、支庁の考えは基幹病院をつくりがまとまらないときはどうするか、強引に診療所をつくつても部下と充分煮つめなければあとの経営をどうするか

杉田町長　職員との対話は反省している、診療所を貫きたいので職員の理解と協力を求めてゆく

坂井事務長　診療所でいくと明確に指示され試算したが、二階建二七七坪で約九千四百十二万二千円となり、補助一千七百十三万四千円、起債四千九百十六万八千円、持ち出し二千七百八十二万円で病院でも差はないが、従来の赤字を解消して将来はトントンでゆけるという再建計画を樹てなければ補助、起債は認められない

矢舗議員　ここで採決して結着をつけたい、議会の権威のためにハッキリさせたい

竹内議長　協議会なので採決はできない、いずれ三月に議案として上程される

高橋誠議員　はじめて意志表示したのだから考え直すのが当然ではないか

診療所には起債が有利

診療所を分散させ、強制はしないが補助、起債に差がある、工事の予算関係はどうなつているか　職員に常識があればやらざるを得ないのではないか、職員が町長を信頼していない、町民は不幸である、議会の意志

杉田町長　診療所を貫きたい、赤字が半分となる、病院なら赤字のために町民の福祉対策を削らなければならない、均コウのとれた福祉対策は病院では応えられない

矢舗議員　これでは町長の独裁政治である

竹内議長　事務長に一赤字が見込まれるのでは補助起債を認めないのか

坂井事務長　病院の場合は甚準面積がふえるが補助は変らず国が三分の一、道が二分の一で、再建計画を樹て赤字を解消し収支を償う状態でなければならない診療所には過疎債一〇〇%が適用されるので病院の特別地方債より三〇%違つてくる

などの論議があつて、杉田町長から北勝光生会への補助金についての住民監査の報告があり、このあと議会の申し入れによつて再開の二十三日に理事者側から病院再建計画書を提出してこの問題に結着をつけることになり、午後七時すぎに散会しました。

杉町長大いにガンバル

かかわらず杉田町長はなんといわれようが信念を曲げずに最終案として押し通し傍聴席に向つては『関心をもつて傍聴され感謝する』と余裕タップリの表情。

○…議会の都度、柳に風折れなし、ノレンに腕押し式に低姿勢をモットーにしてきた形の杉田町長が、この問題に関しては俄然ハツスルして大いにガンバツたのは当選いらいはじめてのこと。

○…重要問題になるとほとんどの議員が発言するのが陸別町議会の特長なのに、この日も発言のないただ一人の高橋一吉議員にたいして竹内議長が親切に発言の機会をあたえたものの依然として沈黙―これではいつたいなんのために議席をもつたのやら―。

○…病院問題は再開議会の二十三日にギリギリ結着をつけることになりそうですが、杉田町長の信念的提案にもかかわらず、議会勢力は地区労推薦の五議員に三議員か四議員が加わつて病院としての再建派が多数を占めるのではないかとの観測。

○…公立病院こそは地域福祉の基本的な最低限度の施設として、これだけは守り抜こうと一地区労を核にしての病院防衛運動がたかまつているおりから、傍聴席も熱気を帯びた各単産の組合員がつめかけるなかで、杉田町長は敢然として病院格さげを最終案として提案

○…当然のことながら地区労推薦議員を先頭に入れ替り立ち替りの総反撃？にも

足寄も報酬、給与の引上げへ

足寄町特別職報酬等審議会（藤村与作会長）では議員報酬と特別職などの給与を四月一日からつぎのように引上げ改正するよう十二日小林町長に答申しました

（カツコ内は現在の額）

△議長　六万八千円（六万九千円）

△副議長　五万三千円（五万円）

△委員長　四万六千円（四万二千円）

△議員　四万二千円（三万八千円）

△町長　二十六万五千円（二十五万円）

△助役　二十万五千円（十八万三千円）

△収入役　十七万五千円（十六万円）

△教育長　十七万五千円（十六万円）

これは年度途中でなく新年度予算のさいに管内の均衡見としています。

コウをとつて改正すべきだという審議会の意見によつたもので、さらに職務の重要性から教育委員、農業委員についても会議に出席した日額でなく、議員に準じて地方交付税でみられているように月額報酬とするように改正することを附帯意見としています。

足寄町　〒二一四八
新柄婚礼衣裳
きものと帯は
㊓久保呉服店

新しい機械と技術で！
整備　板金　塗装
ムトウ自動車工業
板金・塗装　武藤悦啓
二級整備士　武藤衛賢
足寄町農業共済組合前　T　二五七八

庭石は道東随一の当会社へご用命下さい
造園　土木　造林　造材　請負
有限会社　大浦建設
足寄町芽登　T　一一
連絡所　釧路スバル上原社長宅　T　四一―七六六四
帯広市　原田発宅　T　四―四六三五
芽室町関山　大野政夫宅　T　二五二一
池田町　中野直次宅　T　二―八二四六

御入学、御就職のお支度は
是非当店へお願いいたします
女子中学生の制服御用命も
早目にお申し付け下さいませ
株式会社　前田呉服店
足寄町駅前商店街　T二〇二二

太祖常済大師六五〇回大遠忌参拝と
史跡、名所、温泉めぐりの旅
◎出発　明年三月二十六日（十三泊十四日）
◎申込　本年九月三十日（百名で締切り）
◎申込金　二千円（中止の場合返らず）
◎会費　九万七千五百円（本年十二月二十日まで）
◎主な参拝地　大本山永平寺、総持寺、永光寺、法隆寺、奈良京都社寺、出雲大社、伊勢神宮
◎主な観光地　能登半島一周、山陰山陽めぐり、広島原爆記念館、天の橋立安芸の宮島、金沢兼六公園、岡山後楽園、大阪城姫路城、湯桶温泉、和倉温泉、城崎温泉、玉造温泉、湯田温泉その他
◎申込先　足寄町　総泉寺　本別町　光仙寺　陸別町　正見寺

カメラ　八ミリ　写真材料
上野カメラ堂
上野復興
足寄駅通り　T　二五一二

霊きゅう車　葬儀仏具一式　花輪　生花
㊞自動車　新津はなや
足寄町西三区　T　二六二六

大自然のなかの人工美
―いで湯のふるさと―
観光と保養の
芽登温泉
足寄町芽登　T二八五五

不動産についての御相談は
調査　売買　あつせん　管理　分譲
代行　登記　損害保険　代理まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許十26
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目　T二三四五

新畳　表替　中古畳　フスマ張替
二段ベッド
敷物一式
マットレス
小林畳店
小林幸三郎
足寄町大通り山口整骨院前　T二四二八

家具と建材
信用は最大のサービス
技術と納期を誇る！
家具　建具　製造販売
住宅内装に新建材を！
佐藤家具建材店
足寄駅前　電話二二二一番

技術に生きる！
―あらゆる電気器具―
テレビ　ラジオ　レコード　ステレオ
世界の　ビクター
His Master's Voice
有限会社
ミネ・デンキ
足寄町三笠通り　T　2642